

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 9月号

1. 児童と花植え 花めく日々草

7月1日、米子南支所の職員らは地域貢献活動の一環としてJ A支所前を通る「尚徳和みのロード」のプランターに花を植え替えるボランティア作業を行った。

花の植え替え作業は、尚徳公民館が地域の交流につなげようと、近隣住民や尚徳小学校の児童らに呼び掛け、平成23年から実施している。



2. 日南トマトに活気を！トマトマスク贈る

7月21日、新型コロナウイルス感染拡大防止と日南町特産の「日南トマト」を応援しようと、日南支所の職員が手製のトマト柄の布マスクを日南トマト部会に贈った。

マスクを製作した支所職員は「色鮮やかなトマト柄で、可愛くできた。日南トマトが活気づいてほしい」と話した。



3. スイートコーン収穫体験

7月22日、名和さくらの丘保育園の園児26人が大山町で地域特産のスイートコーンの収穫体験をした。

青壮年部名和支部が、地元子どもたちに食べ物の大切さと地域の農作物に興味を持ってもらうことを目的し、一緒に収穫作業を行った。



4. スーパークールビズ、ポロシャツでの勤務開始

地球温暖化防止のために職場で冷房の設定温度を上げ、ノーネクタイなどの軽装で働く「クールビズ」を5月11日から10月30日まで実施している。

7月20日から8月21日の期間は、より一層の軽装で暑さをしのぐ「服装自由期間」を設定しており、J A境港支所では、背中と左胸に「境港 天然本まぐろ」とプリントされたお揃いのポロシャツ姿で勤務を始めた。



5. 二十世紀梨出番。8月27日から販売スタート。

大山町住吉の大山果実選果場は8月25日、露地梨「二十世紀」の初選果式を開き、選果作業の安全を祈願した。

翌日の初出荷で約4000箱(1箱10キロ)の「二十世紀」をトラックに積み込み、関西や山陽方面に向けて出荷した。

